

市立柏病院建て替え事業

～これまでの経緯～

市では、市民の安心・安全のため、小児救急医療への取り組みを中心に、同病院の建て替え整備を検討してきました。しかしながら、市民の皆さまの十分なお理解をいただくには至っていないことから、当分の間、同事業を凍結することとしました。今号では、同事業に関するこれまでの経緯をご説明します。

問医療公社管理課 ☎7134 - 6795



平成5年に開院

同病院（布施1-3）は、国から旧国立柏病院の有償払い下げを受け、平成5年7月、診療科目4科・一般病床数100床で診療を開始しました。現在は、16科・200床の規模で運営をしています。建物は、旧国立柏病院として昭和53年に建設されたものです。

将来像を定める（「柏市立柏病院中期構想」）

同病院の将来像について、市民アンケート調査等の結果を基に、柏市健康福祉審議会市立病院事業検討専門分科会での審議を経て、平成25年3月、柏市立柏病院中期構想を策定しました。

中期構想では、公立病院として小児救急医療や災害医療等への対応が求められるとし、小児科医の確保、病院の建て替えと経営改善を目指すこととしました。

建て替え候補地の選定（「柏市立柏病院整備基本方針」）

中期構想で建て替えの方針が示され、平成26年3月、「経営戦略」「整備基本計画」「資金計画」からなる柏市立柏病院整備基本方針を策定しました。そして、現在地と移転建て替えを含めて立地場所を検討するため、候補地の選定を行いました。

当初14候補地が挙げられ、審議会で現在地と柏の葉地区の2カ所に絞り込まれました。そして、最終的な候補地の決定は、市が判断することとされました。

移転建て替えが望ましいと表明

整備基本方針では、それぞれの候補地についての留意事項が示されており、市ではその検証を行いました。そして、検証結果を踏まえ、候補地を検討し、平成26年9月、柏の葉地区への移転と現在地においてかかりつけ医の役割（一次医療）を維持することを表明しました（本紙平成26年10月15日号「市長室だより」掲載）。

また平成26年11月には、同病院の課題と将来像、建設候補地の選定の経緯等に関する市民説明会を開催しました。

同事業の凍結を表明

移転建て替えの方針については、理解できるとのご意見のほか、同病院の周辺住民のかたや市議会を中心に、多くの疑問や反対の声をいただきました。そこで、市民の皆さまのご理解をいただけるよう時間を掛けて慎重に進めていくため、平成27年2月、同事業を当分の間、凍結することとしました。

皆さまの町会等にご意見を聴きに伺います

凍結の間は、設計等は行いません。今後は、各町会・自治会・区の役員のかたがたを中心に、意見交換会を実施していきます。各町会等に順次依頼をしていきますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

◎「柏市立柏病院中期構想」「柏市立柏病院整備基本方針」「平成26年11月の市民説明会資料」の内容について、詳しくは市のホームページをご覧ください